

記載例 1 (一般向け)

- 記載に当たっては、ボールペン又は万年筆(いずれも黒インクに限る)で記入して下さい。
- 記入内容を訂正する場合は、訂正する部分を二重線で抹消し、正しいものを記入して下さい(訂正印不要)。
- 「受験整理表」の各区分ごとの「コード番号表」は受験願書の裏面にも記載しています。
- 「記載例2(会計専門職大学院修了者(見込者)向け)」が裏面にあります。

19,500円分の収入印紙を重ならないように貼って下さい。
平成26年論文式試験を受験している場合は、収入印紙は貼付しないで下さい。

「氏名」及び「生年月日」は、戸籍とおりに正確に、誰でも分かるような字で丁寧に記入して下さい(受験願書に記載した氏名と添付書類(免除通知書等のコピー)の氏名が異なる場合は、戸籍抄本(コピー不可)を添付して下さい。)

平成27年 公認会計士試験受験願書 (第1回回答式試験用)

収入印紙貼付
19,500円分(貼付してください)

10,000円 4,000円
5,000円 500円

公認会計士・監査審査会会長 殿
平成27年 公認会計士試験(第1回回答式試験)を受験したいので申込みます。

氏名: 会計 太郎
生年月日: 63年9月17日
性別: 男
住所: 東京都千代田区根岸1-1-1013
TEL: (03) 41-1000-1000

短答式試験免除申請
氏名: _____

論文式試験免除申請
氏名: _____

記入しないで下さい。

郵送による「提出日」を記入して下さい。

「提出日」現在の年齢を記入して下さい。

「受験票」、「合格証書」等の郵便物が確実に到着する住所を、都道府県名を省略するなどして、40文字以内(濁点、ハイフン等も1文字)で記入して下さい(郵便番号も必ず記入して下さい)。
また、「TEL」は受験願書の記載事項等について取り急ぎ照会する必要がある場合に、確実に連絡が取れる電話番号を記入して下さい。自宅の電話番号に加えて、携帯電話がある場合には携帯の電話番号も記入願います。

本人の連絡先以外の緊急連絡先を必ず記入して下さい(「現住所」欄の「TEL」以外に緊急連絡先がない場合には、「なし」を○で囲んで下さい)。

記入しないで下さい。

(注1) 短答式試験の志願者及び短答式試験合格者の短答式試験中止申請者は、短答式試験内申書(受験票)を提出し、(第1)回短答式試験の受験票は提出できません。第1回短答式試験及び短答式試験合格者の受験票の提出状況により出願して下さい。
(注2) 本願書では、第1回の論文式試験には出願できません。
(注3) 本願書裏面に記載された収入印紙は、公認会計士試験の実施及び試験日の告知に使用しますが、合格者の本人情報については、公認会計士と多岐にわたる関係にある本人確認のために日本公認会計士協会及び所属都道府県の認定する実施機関等に提供するため、出願による書面提供のみのアンケートに回答することがあります。

受験整理表(別添記載例を参照して記入すること。)

年	受験番号	氏名(カタカナ)	生年月日	性別	職業	学歴	論文式試験 選択科目		
							経営学	経済学	
27	011	ガイケイ タロウ	36	30	9	17	1	0	2

短答式試験	免除科目	論文式試験	免除科目	免除通知書添付
経営学 経済学 税務学 会計学		経営学 経済学 税務学 会計学		

平成26年論文式試験受験の有無
○いずれかを必ずチェックして下さい。
平成26年論文式試験を受験していません。
平成26年論文式試験を受験しており、合格した場合は本願書を取り下げる。
(出願に該当する場合は免除通知書等のコピーの添付が必要です。)

平成26年論文式試験を受験している場合は、「平成26年論文式試験を受験しており、合格した場合は本願書を取り下げる」にチェックし、平成26年試験の受験票のコピーを添付して提出して下さい。

1. 提出日
2. 提出
3. 短答
4. 論文

1. 短答
2. 論文

1. 提出
2. 提出

職業区分

職業区分	コード	例
公認士職	01	公認士職 (02に該当しても可)
私立学校・公立学校教員 (01に該当せず)	02	私立学校、私立大学等の教員、専任・非常勤に該当しない教員、専任・非常勤に該当しない教員
税理士	03	税理士 (02に該当しても可)
会社員	04	取締役等以外の社員
公務員 (05を除く)	05	国・地方公共団体の職員 (05に該当せず)
教員	06	学校教育法による学校の教員、教授 (05に該当しても可)
教育・学芸関係 (06を除く)	07	専修学校、定時制高校の講師 (教員を除く)
学生	08	学校教育法による学校の生徒、学生
専門学校・各種学校	09	専修学校、各種学校生
無職	10	無職、フリーランス
その他	11	個人会社(主務)を営む専業主婦等

※1. 本願書に、短答式試験、論文式試験、及び科目は、01～11の職業区分を必ず記入すること。
 ※2. 「提出日」欄の職業区分を記入すること。

「受験願書(控)」、「写真票」、「受験票」についても必要事項を漏れなく記入して下さい。
(「受験票」の裏面も記入して下さい。)